

～情報収集～

資料 3

●過去の記録からの情報

- ・軽作業の工程は写真付きで説明を行い、不十分なところは何度も丁寧に伝えた。
- ・手先の器用さがあり、手順や方法を覚えるときれいに仕上げることができた。
- ・最初のうちは自分から困りごとを伝えることが苦手なため、「困ったカード（ヘルプカード）」を使用していた。
- ・休憩時間には昆虫好きの職員に、公園や GH 周辺にどんな昆虫がいたか嬉しそうに教えてくれた。
- ・朝起きることが苦手で利用当初は遅刻が多かったが、GH での生活になれたことで遅刻はしなくなった。
- ・作業を一通り経験し、自信につながった様子。活動記録に「ものを作る仕事で就職したい」と書かれていた。

●関係職員の情報

- ・富士さんの現担当職員

業務の多忙さにより富士さん一人に時間をとることができない。また、周りの職員から「あなたが担当の職員なんだから、考えてください」と言われ負担が増していた。しかし、富士さんと良い関係を作りたいと考えているが、何をどのようにしてよいのかが分からない状態。

- ・先輩職員

1 年前に異動してきた。日常業務の多忙さから、富士さんに時間を割くことが難しいと考えている。

- ・富士さんの前担当者（令和 8 年 3 月中旬 出産休暇）

富士さんがスマイル(就労継続支援 B 型事業所)を利用した時からの担当で、富士さんに一番信頼されていた。前担当者曰く、本来穏やかな性格で人と関わるのが好きだと感じている。利用契約された当時は、職員全体で富士さんのことを理解し、気にかけてくれることが出来ており、現状との違いに申し訳なさを感じている。

- ・看護師（非常勤職員）

富士さんの腹痛や便失禁に関して、医療的な調整よりも、精神的支援のほうが必要性は高いと考えている。今回の件は、時間をかけて丁寧に対応すれば、良い方向へ向かうと信じているが、意見することは躊躇している。

- ・ピアハウス（GH）のサービス管理責任者や職員

時々自室にて大声を出している（理由不明）。トイレにこもることはないが、お腹が痛そうにしているため通院した結果、「異状なし」とのこと。GH で便失禁はない。お菓子やケーキが好きで、時々同居の利用者の分まで購入し配っている。活発なタイプではなかったが、ここ半年ほどは元気がなく表情が沈んでいることが多い。体調を確認するも「大丈夫」とだけ話す。それでも、休日には仲の良い入居者と野球（阪神戦）を見に行ったり、公園で昆虫観察をしている。また、月に一度、自宅へ帰り父親と過ごしている（弟は就職し、単身生活）。GH でも協力できることがあればしたいと思っている。

- ・相談支援専門員

富士さんが最初に関わった障害福祉サービス関係者。3 月のモニタリング時に、新たな希望等について意思表示があり、問題なく過ごしていると思っていた。何かあれば調整しなくてはいけないと自覚している。

- ・前任のサービス管理責任者

退職のため聞き取りできず。